履　　歴　　書

氏　　名　　勝俣　啓（かつまた　けい）

勤　務　先　　〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
電話 011-706-2642　　FAX011-746-7404
E-mail　kkatsu@sci.hokudai.ac.jp

学　　歴

1977 年 3 月　富士吉田市立明見小学校　卒業
1980 年 3 月　富士吉田市立明見中学校　卒業
1983 年 3 月　山梨県立富士河口湖高等学校　卒業
1988 年 3 月　東北大学理学部天文及び地球物理学科第二　卒業
1990 年 3 月　東京大学大学院理学系研究科地球物理学専攻修士課程　修了
同　理学修士取得
1993 年 3 月　東京大学大学院理学系研究科地球物理学専攻博士課程　修了
同　博士（理学）取得

職　　歴

1994 年 4 月から 1994 年 7 月まで　日本学術振興会特別研究員
（東京大学地震研究所）
1994 年 8 月から 1998 年 3 月まで　北海道大学理学部　助手
1998 年 4 月から 2006 年 3 月まで　北海道大学大学院理学研究科
（現，理学研究院）　助手
2006 年 4 月から 2006 年 12 月まで　北海道大学大学院理学研究院　助手
2007 年 1 月から 2007 年 3 月まで　北海道大学大学院理学研究院　助教授
2007 年 4 月から 2009 年 3 月まで　東京大学地震研究所　准教授
（地震・火山噴火予知研究協議会企画部専任教員）
2009 年 4 月から現在まで　北海道大学大学院理学研究院　准教授

受賞歴

2013 年日本地震学会論文賞

学協会等での活動

所属学会　日本地震学会正会員，日本地球惑星科学連合会員，
米国地球物理学連合会員
代議員　2004 年～現在　日本地震学会代議員
学会誌　2004 年日本地震学会「地震」編集委員
2015～2016 年日本地震学会「地震」編集委員

学会 LOC　2010 年日本地震学会秋季大会（函館市）の LOC を務める

建議策定　2007 年 4 月から 2 年間，地震・火山噴火予知研究協議会企画部に勤務した．主な任務は，地震・火山噴火予知に関する２０１新建議の策定および突発的な地震災害への対応であった．建議策定に関連して，2007 年地震学会秋季大会では，「地震予知に向けた総合的応力集中モデルの構築と検証」というセッションを主宰した．建議は 2008 年 7 月に関係大臣に対して予定通り答申された．突発地震災害への対応については，2007 年には能登半島地震と新潟県中越沖地震，2008 年には四川省地震と岩手・宮城内陸地震に関して，緊急研究予算の要求や具体的な観測計画の立案などを行った．

専門分野を表すキーワード

地震学，固体地球物理学，地震予知論

各種免許

高等学校教諭ニ級普通免許状第 2114 号（昭和 62 年取得）

普通自動車運転免許証

国際学会での発表経歴

Unknown later phases from microearthquakes near the Indian ocean triple junction - Are they reflections from the mantle?, 1994 年米国地球物理学連合(AGU)秋季大会，サンフランシスコ，1994.

第 21 回国際測地学・地球物理学連合(IUGG)総会，コロラド州ボウルダー，1995.

Japan-Russia joint observation of aftershocks of the 1995 Sakhalin earthquake, 1995 年米国地球物理学連合(AGU)秋季大会，サンフランシスコ，1995.

Intermediate-term seismic and geodetic precursors to the Hokkaido toho-oki earthquake (Mw=8.3) on 4 October 1994, 1996 年米国地球物理学連合(AGU)秋季大会，サンフランシスコ，1996.

第 29 回国際地震学地球内部物理学協会(IASPEI)総会，ギリシャ国テッサロニキ，1997.

Seismic quiescence precursor to a great earthquake，1997 年米国地球物理学連合(AGU)秋季大会，サンフランシスコ，1997.

Real-time Internet transmission of waveforms of microearthquakes from Japan to U.S.A. and to Russia, 1998 年米国地球物理学連合(AGU)秋季大会，サンフランシスコ，1998.

A five years super-slow aseismic precursor model for the 1994 M8.3 Hokkaido-Toho-Oki lithospheric earthquake based on tide gauge data, 第 23 回国際測地学・地球物理学連合(IUGG)総会，札幌，2003.

Spatial distribution of focal mechanism solutions around the Atotsugawa fault, central Japan, The 7th General Assembly of Asian Seismological Commission, Tsukuba, 2008.

国際学会でのコンビーナ経歴

Session name: Seismological approach to volcanoes, 2000 年西太平洋地球物理学会議（WPGM 2000），東京，2000.

在外研究員履歴

文部省在外研究員（短期），アラスカ大学フェアバンクス校
（1996 年 10 月 16 日から 1996 年 11 月 12 日まで）

プロジェクト研究歴

スクリップス海洋研究所と広帯域地震計共同観測（1994 年～現在）
平成 7 年サハリン北部地震とその被害の調査研究・研究分担者
（研究代表者　笠原稔）
オホーツクプレート運動の地球物理学的検証とそのテクトニクスの
研究・研究分担者（研究代表者　笠原稔）
兵庫県南部地震緊急地殻活動調査（地震観測）・研究分担者
（研究代表者　平田直）
北極域の地球環境変動の解明と予測についての共同研究・研究分担者
（研究代表者　福田正己）
全国地震観測データ等を用いた地殻活動モニタリング手法の高度化
研究分担者（研究代表者　笠原敬司）
「地震予知のための新たな観測研究計画」
東北地方・大学合同臨時地震観測（1997 年～1999 年）
日高衝突帯・大学合同臨時地震観測（1999 年～2001 年）
鳥取県西部地震の余震観測（2000 年）
西南日本・大学合同臨時地震観測（2002 年～2004 年）
跡津川断層帯・大学合同臨時地震観測（2004 年～2008 年）
濃尾断層帯・大学合同臨時地震観測（2009 年～現在）
東海地方稠密地震計アレイ臨時観測（2008 年）

その他（社会貢献等）

2002 年　地震予知研究協議会企画部定常広域部会委員
2002 年～2004 年（財）地震予知総合研究振興会
サイスモテクトニクス研究会委員
2004 年　地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会
北日本活断層分科会委員
2004 年（財）地震予知総合研究振興会
過去地震基礎データの DB 化検討委員会委員
2004 年　地震予知研究協議会計画推進部会委員
2005 年～2009 年　地震調査研究推進本部地震調査委員会
長期評価部会活断層評価分科会委員
2007 年～2009 年　地震・火山噴火予知研究協議会企画部専任教員
2007 年～2009 年　科学技術審議会測地学分科会地震部会
観測研究計画推進委員会委員
2009 年～2013 年　地震調査研究推進本部地震調査委員会
地震活動の予測的な評価手法検討小委員会専門委員
2013 年～現在　地震調査研究推進本部地震調査委員会
高感度地震観測データの処理方法の改善に関する小委員会専門委員
2013 年 4 月～2015 年 3 月　大学入試センター試験出題委員（地学）